



チームカ合

カ合小学校だより No4
令和3年6月11日
児童数: 524名
文責: 校長 馬場康弘

ピカピカのプールへ!

6月2日(水)に、6年生がプール掃除をしてくださいました。2シーズンぶりのプール掃除でしたので水も大変汚れていましたが、みんなで協力し合い約2時間30分程でピカピカのプールに仕上げてくださいました。下級生のみんなが気持ちよくプールを使えるよう、黙々と掃除に取り組む6年生の姿は、大変立派でした。6年生、ありがとう!

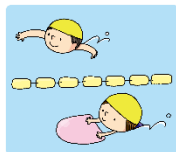


【ビフォー】



【アフター】

水泳シーズン到来



今週は、プール開き週間となっています。4年生を皮切りに各学年、プール開きを行いました。水泳は、技能を向上させるのは当然大切なことですが、命を守る上でも大変重要な学習です。水泳当日の朝の健康観察等、大変お世話になります。また、今シーズンは、新型コロナウイルス対策も同時に行いながらの授業となります。

- ・プールは2クラスで使用する。(3クラス以上は×)
- ・着替えやプールへの移動はマスクを着用する。
- ・プールでは密集しないようにし、プールサイドでも児童の間隔は2m以上を保つ。

というような、これまでなかったルールの下で、各担任も細心の注意を払いながら授業を行っております。お子さんの健康面で何かご不安等ございましたら、お気軽に担任までご相談ください。

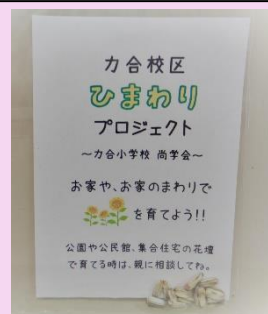
6月は読書月間です

図書室では、「わくわくスタンプラリー」を行っています。スタンプラリーのマスは全部で12個です。スタンプが集まったら、「1冊プラス券」と「しおり」がもらえます。たくさんの本と出合ってくださいね。

図書室では、「わくわくスタンプラリー」を行

ひまわりプロジェクト

コロナ禍において、地域や保護者間の絆が弱まることのないよう、みんなで育て、つながりを保ちたいという願いから、尚学会の役員の方々が「ひまわりの種」を配付されました。種を各ご家庭分用意され、子袋に入れてメッセージを添えられました。心が温かくなる、素敵な取り組みだと感動しました。保護者の皆様方には趣旨をご理解いただき、できる範囲でのご協力をいただければ大変ありがたいです。



ろうかには歩こう!

子どもたちの廊下歩行の様子を見ていて心配しています。中にはすごいスピードで走っている子を見かけることがあります。「なぜ、廊下は走ってはいけないの?」と尋ねると、ほとんどの子が「人にぶつかるから」と答えます。最近、「危険予測・回避能力」という言葉をよく耳にします。この先どんな危険があるかを予測し、危険を回避することで、自分の命や安全を守る力という意味だと捉えています。学校の中には

けがをしている子が歩いたり、見通しの悪い箇所があったりします。校外に出ると、狭い道路や複雑な交差点等があり、決して安全な所だけではありません。右の写真は、たんぼぼ学級の子どもたちが、廊下は右側を歩くことを啓発する意味で、ペットボトルと紙コップを加工し、廊下の一部に置いてくれました。このたんぼぼ学級の子どもたちの行動が、全校児童へ広がっていくことを期待しています。

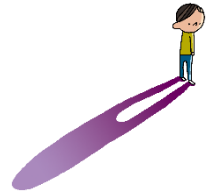


留守番電話の設定時刻変更について

仕事にメリハリをつけ、日々の業務の質を高めることと、職員の心身の健康保持、働きやすい職場環境づくりを進めるため、毎週水曜日を定時退勤日としました。そこで、来週から水曜日の留守番電話の設定時刻を午後6時とさせていただきます。他の曜日はこれまで通り、午後6時30分です。どうぞよろしくお願いいたします。

6月は、「いじめ根絶月間」でもあります。

6月の全校朝会で、子どもたちに以下のような話をしました。



今日から6月に入りました。いつもの年だったら梅雨になるのもこの時期でしたが、今年は20日ほど梅雨に入るのが早く、雨の日が多いですね。外で元気に遊ぶことも少なく、何かもやもやしている人がいるかもしれません。

さて、ここでみなさんに質問をします。「自分がされていやなこと」はどんなことですか？ 30秒間考えてみてください。どうぞ。今度は、自分の考えたことを隣の人と30秒間話し合ってみましょう。やめてください。

「悪口を言われる、あだ名で呼ばれる、文句を言われる、無視される、たたかれる。」のような言葉が校長室まで聞こえてきそうです。そこで、今日は、「いじめ」について話をしたいと思います。

私たちが毎日楽しく幸せに生きていくために、「心のルール」というものがいくつかあります。「自分がされていやなことは、人には絶対しない。」というのも心のルールです。

このルールをみんなが守っていれば、みんなが安心して過ごせるのです。逆に、このルールを守らないと、いじめが起るのです。いじめは相手の心に一生残る深い傷を刻んでしまいます。最悪の場合、命を奪うことさえあります。そんな悲しい出来事が起きていることを、みなさんもテレビやニュースなどで見たことがあるのではないのでしょうか？ 人の命、それは一番大事なもので、かけがえのないものです。何にも代えられない大切なものです。人の大切な命を奪うことにつながることは絶対許されないのです。いじめは最も卑怯な行動で心のルール違反です。いじめを許さないのは校長先生だけではなく、力合小学校の先生方はみな同じです。先生たちは、弱い立場の人を精一杯守ります。理由はどうあれ、もし今友達をいじめている人がいたら、今すぐ止めてください。どうかいじめが学校からなくなるよう、社会からなくなるように、どうすればいいかをみんなで真剣に考えていきましょう。そして、いじめをなくすためにみんなで力を合わせていきましょう。

それから、いじめを見て見ぬふりをする人も、いじめをしている人と同じになります。だから、もし、友達に嫌なことをされたり、言われたりして心がもやもやしたり、友達がいじめられているのを見かけたりしたら、友達や先生、お家の人など近くの人に相談してください。きずなアンケートに答えるのもいいことです。周りの人に助けを求めてください。誰かが、きっとあなたの力になってくれます。

最後に、校長先生が以前読んだ本の中に、「命の授業」という本があります。この本は、ケガをされ、お医者さんから一生寝たきりになると言われた学校の先生が、最後は元気になったというお話です。その中に、「5つの誓い」という素敵な言葉がありましたので紹介します。

- ・口は、人を励ます言葉や感謝の言葉言うために使おう。
- ・耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- ・目は、人の良いところを見るために使おう。
- ・手足は、人を助けるために使おう。
- ・心は、人の痛みがわかるために使おう。

口・耳・目・手足・心は、人を傷つけるのではなく、人のために使おうということなのです。



6月は、「いじめ根絶月間」になっています。「根絶とは、全てをなくしてしまう」という意味です。いじめを根絶できるよう、各学年・学級でもしっかり学習してください。

※ お子さんのことで何か変わった様子が見られましたら、ご遠慮なく担任までご相談ください。